

景気悪化に対し、雇用とくらしに対する緊急対策の申し入れ

2009年2月 12日

日本共産党綾部市会議員団

団長 堀口 達也

昨年12月に綾部市地域経済対策本部を設置し鋭意、市内事業者の状況の把握をはじめ、雇用やくらしへの支援に奮闘されていることに敬意を表します。

さて、昨年からの金融危機が、年を明けてからも、その悪化はますます広がっています。すでに市内でも、事業所等での操業が短縮されたり、休業が増えたりしています。そして派遣止めや、解雇がはじまりハローワーク綾部では、求職者が昨年12月には199人と大幅に増加しています。

私どもも、市内の事業所の方々や、関係機関に出向いて実態や要望をお聞かせいただきましたところ、事業者のみなさんは営業や事業を守るために様々な苦勞をされています。

この事態に、綾部市が全職員の英知を集めて、緊急な財政出動も含めた対策をおこなうことが求められています。

議員団が12月におこないました2009年(平成21年)度の予算編成に対する要求に加えて、更に下記の事項について対策を講じるように緊急に申し入れをおこないます。

記

各種助成金等への事務手続きの補助や支援を

- ・ 中小企業緊急雇用安定助成金、高年齢者雇用開発特別奨励金、若年雇用促進特別奨励金など各種制度の周知と事務手続きを支援する窓口を設置すること。
- ・ 中小企業緊急雇用安定助成金の5分の1の支援を綾部市がおこなうこと。

環境、農林業、福祉、教育に対して、今後の雇用に結びつく対策を講じること

- ・ 森林整備をすすめるために間伐の促進事業を行うこと。当面、生産森林組合所有林の間伐を市が負担金を持ち出しておこなうこと。その作業を行うために森林組合等で職員を雇用するための補助金を創設すること。
- ・ 個人所有林の境界を画定するための職員を雇用すること。
- ・ 耕作放棄田等の整備をおこなうことや、軽微な耕作地の整備(農道拡幅、水路改修等)など田を直すために、オペレーターを採用し農作業等の支援を行うこと。
- ・ 市道等の維持補修をおこなうために臨時雇用職員を配置すること。
- ・ ヘルパー等の資格取得をおこなう講座を開設し、雇用に結びつけること。
- ・ 小中学校等の小規模修繕を、町の大工さんに発注すること。

り職者等への生活支援を

- ・ 無利子、無担保、無保証の少額融資制度を創設すること。
- ・ 国民健康保険や介護保険などの減免制度の拡充をはかること。

生活支援の総合的な窓口の開設をおこなうこと。

定額給付金の支給に際しては、地域振興券方式など商工会等と協議をし、市内業者への売上げが増える方策を検討すること。

耐震化工事等については、地元業者への経済波及がおこなえるように発注をおこなうこと。そして下請けについては、下請けに関する各法令を遵守しておこなうように指導を行うこと。